第4章　医療費推計と実績の比較・分析

1　第3期鹿児島県医療費適正化計画における医療費推計と実績の数値について

○　第３期鹿児島県医療費適正化計画では，医療費適正化に係る取組を行わない場合，平成 30 年度の推計医療費 6,952 億円から，令和５年度には 7,494 億円まで医療費が増加することが推計されており（適正化前），医療費適正化に係る取組を行うことで，令和 5 年度の医療費は 7,433 億円となると推計されていました（適正化後）。

しかし，令和５年度の医療費（実績見込み）は 7,041 億円が見込まれており，第３期鹿児島医療費適正化計画の推計値との差異は▲392 億円となっています。

【図表 34】医療費推計と実績の差違　（単位：億円）

平成 30 年度の医療費（足下値）			
	推計（第３期計画策定時の推計）	①	6,952
	実績（平成 29 年度実績等をもとに国で算出した推計値）	②	6,791
令和５年度の医療費			
	推計：適正化前（第３期計画策定時の推計）	③	7,494
	：適正化後（　　〃　　）	④	7,433
	：適正化後の補正値（※）　④×（②÷①）	④’	7,260
	実績：令和４年度実績等をもとに国で算出した見込み	⑤	7,041
令和５年度の推計と実績の差異			
	推計（補正前）と実績の差異	⑤－④	▲392
	推計（補正後）と実績の差異	⑤－④’	▲219

※　小数点以下四捨五入により，減算が一致しない場合あり。

※　平成 30 年度の医療費（足下値）について推計と実績とで差異が生じたことを踏まえ，平成 30 年度の実績をベースとして，令和５年度の適正化後の推計値を補正したもの。